



1月11日、けいはんな学研都市新年賀詞交歓会

未来をひらく 新文化首都 けいはんな

CONTENTS

- * 平成20年度関西文化学術研究都市関係政府予算案等の概要 1
- * カナダ国際貿易次官がけいはんな学研都市を視察 2
- * けいはんな学研都市新年賀詞交歓会 3
- * サイレックス・テクノロジー株式会社開所 3
- * 最近の動き 3



平成20年度関西文化学術研究都市関係政府予算案等の概要

◆国立国会図書館関西館

関西館第二期建設用地取得費 1 億 1 千 2 百万円及び関西館敷地・建築調査費 1 千 1 百万円が計上されました。平成20年度で第二期建設用地の取得がすべて終了します。

また、関西館敷地・建築調査費は、東京本館、関西館とも平成29年度に満架になる見込みのため、関西館第二期建設の準備に着手するための調査費です。

なお、全体では資料整備費、庁舎維持管理費、事業運営経費などを含めて総額19億円が計上されました。

◆奈良先端科学技術大学院大学

平成20年度の特別教育研究経費として認められた主な事業としては、「大学院教育グローバル化プログラム」、「戦略的ユビキタス教育・研究基盤ネットワークシステム」、「最先端メディカルフォトリックデバイスの研究推進」、「超高速ディペンダブルネットワーク環境での複合現実感研究創出事業」、「植物科学・研究推進・教育推進創出事業」などがあります。

◆日本原子力研究開発機構関西光科学研究所

光量子科学研究関連経費 4 億円などが計上されました。また、同研究所が中心となって、産学官連携で進められている「『光医療産業バレー』拠点創出」（平成19年度文部科学省科学技術振興調整費「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」プログラム採択）も順調に進んでおり、今後の活動が大いに期待されます。

◆平城宮跡国営公園化

「国営飛鳥歴史公園」と一体の公園として、「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園」（仮称）平城宮跡区域（仮称）の整備着手が決定されました。国営公園となる平城宮跡約120ヘクタールのうち、事業化される面積は約70ヘクタールで、わが国を代表する歴史・文化資産を活かしつつ、一層の保存・活用が図られることとなります。

また、平城宮跡保存整備についても、7 億円が計上され、「平城遷都1300年記念事業」（平成22年）に向け着実に進められています。

◆私のしごと館

今年3月に開館6年目を迎える「私のしごと館」は、若者を主な対象として、職業に関する様々な体験機会や体系的な職業情報の提供等を行う職業情報拠点として、入館者数が昨年12月には160万人を超えるなど、修学旅行の一環や校外学習として、中高生に大変多く利用されています。

昨年12月24日に閣議決定された「独立行政法人整理合理化計画」において、「私のしごと館」については、運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。」とされました。

◆総務省「ユビキタス特区」創設

総務省ではICT産業の国際競争力を強化するため、昨年5月に「ICT国際競争力強化プログラム」を策定し、その中で「日本のイニシアティブによる国際展開可能な「新たなモデル」を確立するため、「ユビキタス特区」を創設する」ととしています。

「ユビキタス特区」では、「新たな価値創造につながる、固定通信、移動通信、コンテンツ及びアプリケーションが融合・連携した世界最先端のサービスの開発・実証実験等を実施」します。実施場所としては、1）北海道内、2）沖縄県内、3）研究開発拠点が集積している場所（本都市並びに周辺地域等）のいずれかを想定しています。

「ユビキタス特区」に関する提案は、昨年9月～10月末まで募集され、期間中に全国から188件、そのうち本都市からは43件が応募されました。

今後、本都市へ「ユビキタス特区」が設置され、国際競争力をもつ革新的なICTサービスの実現化が期待されます。

◆その他

上記の他に、関西文化学術研究都市の都市建設推進に資する調査費として3千5百万が計上されました。

また、文部科学省の都市エリア産学官連携促進事業へ本都市が応募し、地域のイノベーションシステムをさらに発展させ、継続的に新事業が創出されることを目指します。



平成20年度関西文化学術研究都市関係政府予算案等の概要

		平成19年度 政府予算	平成20年度 政府予算案	備 考
立 地 施 設 関 係	国立国会図書館関西館 (国立国会図書館)	19億円	19億円	
	株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 (総務省)	65億円の内数	42億円の内数	独立行政法人情報通信研究機構民間基盤技術研究促進事業
	独立行政法人 情報通信研究機構 知識創成コミュニケーション研究センター (総務省)	363億円の内数	353億円の内数	
	奈良先端科学技術大学院大学 (文部科学省)	496億円の内数	486億円の内数	国立大学法人等施設整備費
	独立行政法人 日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所等 (文部科学省)	1,632億円の内数	1,687億円の内数	独立行政法人日本原子力研究開発機構運営費交付金
	平城宮跡保存整備 (文化庁)	29億円	7億円	
	独立行政法人 雇用・能力開発機構 私のしごと館 (厚生労働省)	11億円 (計画額)	10億円 (計画額)	運営費
	財団法人 地球環境産業技術研究機構 (経済産業省)	33億円	27億円	
推 進 方 策 等	都市公園(「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園」(仮称) 平城宮跡区域(仮称)の整備着手) (国土交通省)	1,157億円の内数	1,101億円の内数	
	関西文化学術研究都市の都市建設推進に資する調査 の実施 (国土交通省)	0.4億円	0.4億円	
	文化学術研究施設等 ・日本政策投資銀行 融資 (国土交通省)	地域経済振興枠 1,700億円の内数	地域経済振興枠 750億円の内数	

カナダ国際貿易次官がけいはんな学研都市を視察

1月10日(木)、来日中のマリー・ルシー・モラン カナダ国際貿易次官ら4名が学研都市を視察しました。カナダ政府のイノベーション担当を務める同次官は、来日の機会を利用して、関西を中心にサイエンスパークや研究機関等を見て回りたいということで、今回の視察が実現しました。

次官一行は同日午後、本都市に到着。まず、オムロン京阪奈イノベーションセンタを訪問。同センタでは最初に、当推進機構が学研都市の概要紹介を行いました。その後、オムロンの概要説明を受け、施設及び研究内容(顔認証技術、マイクロフォトデバイスなど)を視察しました。

次に、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)を訪問。ATRでは、概要説明の後、音声自動翻訳システム、知能ロボティクス研究所のジェミノイド、脳情報研究所を視察。脳情報研ではカナ

ダ人研究者も同席し、短時間ながら次官との懇談も実現しました。次官一行はオムロン、ATRの素晴らしい施設、興味深い研究内容に感心され、得るものが多い視察となった様子でした。



ATRにてジェミノイドを囲んで



けいはんな学研都市新年賀詞交歓会

1月11日(金)けいはんなプラザにおいて、新春恒例のけいはんな学研都市新年賀詞交歓会が開かれました。

立石義雄当推進機構理事長が新年の抱負と決意を述べた後、山田敬嗣日本電気株式会社C&Cイノベーション研究所長が立地機関を代表してご挨拶、木村 要精華町長が乾杯の音頭をとられました。交歓会には立地施設の代表者など約180名が参加、親しく交流するとともに、初めての試みとして、参加者全員で「けいはんな賛歌」を合唱し、本都市のいっそうの発展を祈念しました。



サイレックス・テクノロジー株式会社開所

1月7日(月)、精華・西木津地区光台において、サイレックス・テクノロジー株式会社「けいはんな本社」が、研究開発・生産・営業及び管理機能を東大阪市内より移転し、開所しました。(開所式は1月16日)

同社は、Connectivity & Wireless Solution事業とBiometrics Authentication Solution事業を主力事業とし、プリントサーバ、無線LANモジュールなどのネットワーク機器や指紋認証センサなどを提供しています。

同社の開所により本都市の立地施設数は105になりました。



サイレックス・テクノロジー(株)

最近の動き

- 1月7日 サイレックス・テクノロジー株式会社開所
- 1月10日 カナダ国際貿易次官がけいはんな学研都市を視察
- 1月11日 けいはんな学研都市新年賀詞交歓会
- 1月15日 ハイタッチ・リサーチパーク新春年賀交歓会
- 1月30日 サード・ステージ推進会議第4回基本政策委員会

平成20年2月発行
 発行 (財)関西文化学術研究都市推進機構
 関西文化学術研究都市建設推進協議会
 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7
 けいはんなプラザ 交流棟3F
 TEL(0774)95-5105 FAX(0774)95-5104
 E-mail: admin@kri.or.jp